

# ファミリーレクリエーション活動の実態調査

— 親の運動部経験による比較から —

梅原 俊子（あさひな幼稚園）

キーワード：子ども 遊び 父母 健康教育 ファミリーレクリエーション

## 1. 研究の目的

保育園や幼稚園に通う子どもを持つ母親にとって育児とは、自分を育てる「育自」でもある・・・と先日の新聞に載っていた。「お母さん、内緒の話があるの。」「なあに?」「だ・い・す・き!」こんなやりとりは、今だけかもしれないが、子どもの素直な気持ちを大切にしながらお母さんも育自されていくのだと思う。また、幼児期には最初の親離れが起こる。親離れは、子どもの社会性が育つ利点にはなるが、親子の親密度が減少していく出発点にもなっていく恐れもあると言っても過言ではない。そこで著者は、大切な親離れの時期だからこそ、家庭（親子）でのコミュニケーションが重要であると考えた。そして、前回の調査で、子供が親と過ごす時間は、母親で2時間・父親で1時間以内でありファミリーレクリエーションもイベント型の傾向としてみられたこと、また、家庭教育では「健康教育」が一番大切であるとの考えが示されていた。その後、A幼稚園と関わることによって、子どもの健康・体力面や遊具中心に遊ぶ形態に、疑問・関心を持つようになった。そして、家庭での過ごし方が、そのまま園生活に反映することが多い為、家庭での子どもの遊び環境を知った上での遊び指導が必要な時代であると考えた。そこで本研究では、親の養育態度とファミリーレクリエーションにどのような違いが見られるか、比較・検討することと、A幼稚園での体育遊び（リズム体操）が、園児の運動意欲や親子の触れ合いに関与したかどうか（再現されたのか）家族にもたらす影響について、その活動内容の実態を見ることを目的とする。今後の子どもの遊び指導のための基礎資料とする。

## 2. 研究の方法

### 1) 調査対象

横浜市内にある幼稚園の父母	年長児（5歳児）	133人
	年少児（3.4歳児）	142人

### 2) 調査方法

アンケート調査（担任から園児に託し、家庭で父母に記載していただいたものを担任が回収した）1995年6月16日から、同年6月21日に実施。有効回収率87.3%。

### 3) 調査内容

「健康教育と親子のレクリエーション」と題し、内容は大きく4つある。

- \* 1. 子どもの日常生活行動について
  - \* 2. 平日の親子の関わりについて
  - \* 3. アウトドアー・レジャーの動向について
  - \* 4. 体育遊び（リズム遊び）の家庭での再現性について
- これらを親の運動部経験の有無により、比較・検討した。

(表1)

## 親の運動部経験の有無

有・無	3.4歳男児 (SB) N/%	3.4歳男児 (SG) N/%	5歳男児 (LB) N/%	5歳女児 (LG) N/%	横 計 N/%
父母有り (D型)	30/49.2	28/45.2	35/50.0	22/46.8	115/47.9
父のみ有り (E型)	13/21.3	10/16.2	18/25.7	14/29.8	55/22.9
母のみ有り (M型)	8/13.1	9/14.5	6/8.6	5/10.8	28/11.7
父母なし (O型)	10/16.4	15/24.2	11/15.7	6/12.8	42/17.5
縦 計	61/100.0	62/100.0	70/100.0	47/100.0	240/100

## 3. 結果と考察

## 1) 親の運動部経験の有無について (表1)

約5割の両親が運動部の経験者(D型)であった。全体で父母を見ると、若干父の方に運動部経験者が多いようにみられる。また、両親ともに運動部経験が無い3.4歳女児の父母(24.2%)もみられた。

## 2) 子どもの日常生活行動について (表2・3)

(1)起床と就寝・・・朝8時頃には起床し、よる10時頃までには寝ていた。起床の時、ほとんどの子どもが自分で起きる努力をしている。「いつも親が起こす」という子どもは17%である。

(2)帰宅後の遊び・・・D型の約5割の子どもは、友達が家に遊びに来るが、O型は約5割の子どもが、友達の家に行きに行くという結果がみられた。遊び相手は、D型の子どもは3～5人で遊ぶことが多く(8割以上)、E型は2人で遊ぶことが多い(7割以上)。M・O型は3～5人で遊んでいるが、D型に比べると集団づくりは消極的であると考えられる。また、D型の子どもは、圧倒的に年上や年下の子どもと遊んでおり、社交的な様子がみられた。

## 3) 平日の親子の関わりについて (表4・5)

(1)子どもの相手時間・・・父親で30分から1時間、母親では1～2時間が多かった。

(2)母と子の遊び・・・男児、女児共に母親とは「おしゃべり(言葉遊び)」を楽しんでいる。D型のみベスト5の中に「砂遊び」があった。室内の簡易的な遊びで、継続性には欠ける遊びが目立っていた。

(3)父と子の遊び・・・男児はD・E・M型の1位に「サッカー」があり、O型は「公園散歩」が1位であった。また、全般に「すもう」「ファミコン」がベスト5の中にみられた。父親が体育的な遊びの役割を果たすことに重点を置くならば、「ファミコン」は子どもの心身の健康・発達上、適している遊具とは捉えにくいと考える。

## 4) アウトドア・レジャーについて

(1)季節別ベスト3・・・春と秋に共通して「遊園地」「ハイキング」、夏と秋に共通して「バーベキュー」がみられた。他に、フルシーズンにゴルフ・テニス・ボーリングをする家族もD・E・M型に多くみられた。

- (2) 選択数・・・各季節ごと、選択しているレジャー数は、D・E・M型が春夏に活発に多くのレジャーを楽しんでいた。また、同行者も「親の友達」と出掛けるなど、豊かな人間関係の傾向といえよう。
- 5) 運動遊びの再現性について (表6)
- (1) 年少児 (S)・・・一部分の表現も含め、親と一緒に踊っている子どもも合わせて約7割の子どもが家で体操遊びを再現していた。親子体操は、約6割の子どもが再現していた。
- (2) 年長児 (L)・・・年少児に習った体操遊びで覚えているものベスト3は、1.きのこ 2. トトロ体操 3. バナナ体操であった。これらの種目については、約8割が再現されていた。

#### 4. まとめ (表7)

- 1) 子どもの遊び欲求に応えられている親を3つに分類した。
- ・D型=体力・気力型コミュニケーション (体力、気力の許す限り子と遊ぶ)
  - ・E型=休日プログラム型コミュニケーション (奥さんも含めて家族サービスする)
  - ・MとO型=日常型コミュニケーション (時間のある時にできるだけ接している)
- 2) 応えられていない親/その理由
- 「弟・妹がいて十分関わってあげられない」や「体力がついていけない」などが理由
- 3) これらの結果から、やはり運動部経験のある親の方が親子レクリエーションが積極的に行われ、その子どもの性格も社交的であった。なぜなら、親が健康で基礎体力もあり活動的だと行動範囲も広く、友好関係も盛んであるから、子どもは自然に社会性が身に付き、バイタリティに富んだ人間性に形成されていくと考えられる。友達付き合いが上手く、人気のある子どもがD型に多いのは、一概に運動部経験だけでは片付けられないが、体力があり遊び欲求に応えられる (また、その可能性のある) 親の方が、子どもにとっては理想的な環境なのである。親が消極的で遊び欲求に応えられなければ、その子どもの社交性は狭くなり、情緒も安定しなくなる危険性もあるだろう。親の運動部経験の有無によって、ファミリーレクリエーションのオリジナリティに差が現れてしまうのである。しかし、今は応えられていなくても、これから応えていく可能性として約8割の親子で遊びについて努力をしていこうとする姿勢がみられたことである。

学校の週5日制をはじめ、近い将来において、企業でも5日制の普及は近いと思われる。しかし、現状はそれを受け入れるファミリーで気軽に遊べる場所は少ない。また、毎週テーマパークに出掛ける程、経済的な余裕もないであろう。したがって、ファミリーレクリエーションが、イベント型から脱皮できない要因と考える。

核家族、少子化と家族の形態も変わり、親子のつながりも多様化してきた。幼稚園では、親子で集まる機会 (行事) をつくり、後に、家庭で生かされるような親子の遊びの企画・提供することも今後の課題といえよう。

また、行政の地域に根ざしたレジャー環境の整備が急務と思われる。

表 2

友達関係 <LB>	D型 N(%)	E型 N(%)	M型 N(%)	O型 N(%)
a 家に遊びに来る	24(49.0)	7(35.0)	3(42.8)	4(23.5)
b 家に遊びに来る	17(34.7)	6(30.0)	2(28.6)	9(53.0)
c 約束はするが遊ばない	0(0.0)	6(30.0)	0(0.0)	0(0.0)
d その他	8(16.3)	1(5.0)	2(28.6)	4(23.5)

表 3

遊びの相手<SB>	D型 N(%)	E型 N(%)	M型 N(%)	O型 N(%)
a なし(1人遊び)	2(6.4)	1(7.7)	2(22.2)	2(18.2)
b 1人	2(6.4)	10(76.9)	1(11.1)	2(18.2)
c 2~4人	26(84.0)	0(0.0)	5(54.5)	6(54.5)
d 5~9人	1(3.2)	2(15.4)	1(11.1)	1(9.1)

表 6

S	D型	E型	M型	O型	計
ALL	N	N	N	N	N(%)
a	7	1	1	3	12(9.8)
b	28	10	7	12	57(46.3)
c	9	3	2	4	18(14.6)
d	1	1	2	4	8(6.5)
e	4	1	0	0	5(4.1)
f	9	6	4	2	21(17.1)
無回答	0	1	1	0	2(1.6)

- a=その日に習った体操の話をしてくれる  
b=体操を踊って見せてくれる(1部分の表現も含む)  
c=体操を踊って親や兄弟にも教えてくれる  
d=親も覚え、一緒に踊ったことがある。  
e=友達と遊ぶ時、踊っていたことがある  
f=その他

表 7-(1)

## 子どもの遊び欲求への親の反応

S・L	D型	E型	M型	O型	合計
ALL	N(%)	N(%)	N(%)	N(%)	N(%)
A	60(52.2)	28(50.9)	11(39.3)	17(40.5)	116(48.3)
B	54(46.9)	26(47.3)	17(60.7)	25(59.5)	122(50.8)
無回答	1(0.9)	1(1.8)	0(0.0)	0(0.0)	2(0.8)

- A=十分応えられている  
B=応えられていない

表 4

母親の 相手時間	D型 N(%)	E型 N(%)	M型 N(%)	O型 N(%)	合計 N(%)
a 30m-1h	21(18.3)	14(25.5)	3(11.5)	7(16.7)	45(18.8)
b 1h位	29(25.2)	15(27.3)	13(50.0)	8(19.0)	65(27.1)
c 2h位	30(26.1)	15(27.3)	6(23.1)	12(28.6)	63(26.3)
d 3h位	15(13.0)	4(7.3)	3(11.5)	3(7.1)	25(10.4)
e 4h以上	12(11.3)	7(12.7)	1(3.8)	5(11.9)	26(10.8)
f その他	1(0.9)	0(0.0)	0(0.0)	2(4.8)	3(1.3)
無回答	6(5.2)	0(0.0)	2(7.7)	5(11.9)	13(5.4)

表 5

父親の 相手時間	D型 N(%)	E型 N(%)	M型 N(%)	O型 N(%)	合計 N(%)
a 30m-1h	62(53.9)	25(45.5)	17(60.7)	17(40.5)	121(50.4)
b 1h位	16(13.9)	8(14.5)	0(0.0)	3(7.1)	27(11.3)
c 2h位	4(3.5)	4(7.3)	1(3.6)	1(2.4)	10(4.2)
d 3h位	0(0.0)	1(1.8)	0(0.0)	1(2.4)	2(0.8)
e 4h以上	2(1.7)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.4)	3(1.3)
f その他	23(20.0)	11(20.0)	7(25.0)	16(38.1)	57(23.8)
無回答	8(7.0)	6(10.9)	3(10.7)	3(7.1)	20(8.3)
その他30m 以下	---	3(5.4)	---	6(14.3)	
平日 0m	---	3(5.4)	---	2(4.8)	
休日のみ	---	---	---	1(2.4)	
全く相手しない	---	---	---	3(7.1)	

表 7-(2)

## 応えられている親/その応え方

S・L	D型	E型	M型	O型	合計
ALL	N(%)	N(%)	N(%)	N(%)	N(%)
a	19(22.6)	10(30.3)	5(35.7)	9(37.5)	43(27.7)
b	29(34.5)	9(27.3)	5(35.7)	8(33.3)	51(32.9)
c	12(14.3)	3(9.1)	1(7.1)	3(12.5)	19(12.3)
d	22(26.2)	10(30.3)	2(14.3)	4(16.7)	38(24.5)
e	2(2.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(1.3)
無回答	0(0.0)	1(3.0)	1(7.1)	0(0.0)	2(1.3)

- a=子どもと積極的にコミュニケーションをとるようにしている  
b=時間の許す限り、子供と一緒に遊ぶ  
c=体力の許す限り、子供と一緒に遊ぶ  
d=アウトドアレジャーに出掛け、体を動かすようにしている  
e=その他